



## 鮮やかな花で庁舎も心も美しく

7月1日、市役所本庁舎正面玄関前のロータリーに色とりどりの花が植えられました。これは、障害福祉サービス事業所であるあみすた園の善意によるもの。普段施設で栽培している花の一部を、無償提供していただきました。

1つ1つ丁寧に植えられた花々は、どれも生き生きとしていて、見る人を和ませるものになっています。市役所へ来た際には、ぜひ目を向けてみてください。



## 全国を飛び回る「はやぶさ2」塩原モデル

平成26年の塩原小中学校開校式にあわせて製作・披露された小惑星探査機「はやぶさ2」の実物大模型。これは、子どもたちの夢の実現を願い教員・保護者・地域の人々が製作に4カ月をかけた力作。

開校式後は日本宇宙フォーラムへ寄贈され、全国を飛び回っています。茨城、広島、福井などで展示され、現在は鳥取県立博物館の宇宙企画展(写真)の目玉として多くの宇宙ファンを楽しませていきます。次はどこへ飛び立つのでしょうか。



## 蛍火眺めて 別世界にひたって

ホタル観察会が6月30日、二区町公民館で行われ、約20人が参加しました。二区町ホタルの里保存会・小林憲治会長(6/5号掲載)を講師に招き、ホタルの生態を学んだ後、里の小川を散策。当日は曇り空で蒸し暑かったため、多くの光が見られ、「ここ数年で最高の観察会」との会長のコメントも。

昨年9月の豪雨の影響か、数の減少が心配される地域もありましたが、市内のホタルが確実に育っていることを実感できる観察会でした。



## 地域の安全を守る力を身に着けるために

火災や災害が発生すると、地域を守るために活躍する消防団。団員たちの機械器具の操作や行動について、その速さや正確さを競うために毎年開催されるポンプ操法競技会が6月19日と26日に、黒磯・西那須野・塩原の各地区で開催されました。

団員たちはこの日のために、早朝や夜間に練習を積み重ねてきました。会場では選手に対して声援が常に飛び交い、競技を終えた選手たちからは「やりきった」という笑顔がこぼれていました。



## ゴールを目指して 己との戦い

6月26日、戸田調整池周辺を会場に行われた関東学生トライアスロン選手権那須塩原大会。今年で19回目となる本大会は、関東36大学から351人が出場し、スイム1.5km、バイク40km、ラン10km(計51.5km)のタイムを競いました。

日々鍛錬を積んでいる選手であっても、その道のりは過酷なもの。競技中に倒れ、搬送される選手もいましたが、ゴール後には選手・観客ともに涙を流す場面が相次ぎました。

懸命にチャレンジする選手、それを応援する仲間や観客、蒸し暑さを忘れるほど胸が熱くなる大会でした。



### キッズトライアスロン講習会(初心者大歓迎)

現役アスリートがやさしく指導。タイム計測・表彰・参加賞あり。

- ▶とき 8月24日(木)午前9時～正午 ▶ところ 旧金沢小学校
- ▶対象 小学4年～6年 ▶定員 30人 ▶申込期限 8月17日(水)
- ▶申し込み・問い合わせ 〓スポーツ振興課 ☎0287(37)5439

### 昨年の表紙に掲載されたあの人にインタビュー

昨年の広報なすしおぼら7月20日号で表紙を飾った国士館大学3年・安藤さりいさんにお会いすることができました

——安藤さんの写真が全国のコンクールで入選したんです

本当ですか!? おめでとうございます。素直にうれしいです

——トライアスロンの魅力は?

3種で競うスポーツなので、苦しい競技があっても他で挽回できます。競技が変わるので見ているだけでも楽しいですよ

